

# 医療費控除の明細書の書き方

確定申告で医療費控除の申告をする際は、医療費の明細書を添付する必要があります。保険組合から発行される「医療費のお知らせ(医療費通知)」や医療機関の領収書をもとに、ご自身で1月1日から12月31日までに支払った医療費を計算し、明細書を作成してください。

### 医療費のお知らせ

令和〇年〇月〇日

受診年月	受診者氏名	医療機関等の名称	区分	日数	医療費の総額	支払った医療費の額 (患者負担額)	減額区分
〇〇〇〇	岩倉 太郎	医療法人〇〇病院			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
〇〇〇〇	岩倉 太郎	〇〇〇〇歯科医院			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
〇〇〇〇	岩倉 太郎	▲▲薬局			〇〇〇〇円	〇〇〇円	
	合計				●●●●●●円	●●●●●●円	

### 医療費控除の明細書

氏名 \_\_\_\_\_

(1) 医療費通知に記載された医療費の額 円	(2) (1)のうちその年中に実際に支払った医療費の額 円	(3) (2)のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額 円
---------------------------	----------------------------------	-------------------------------------

### ① 医療費のお知らせをもとに記入

合計欄に記載されている医療費全体の合計額を(1)へ。支払った医療費の額(患者負担額)を(2)へ。(2)のうち、後から生命保険や高額療養制度により補填された分は(3)へ記入してください。

### ② 領収書をもとに記入

上段の「医療費のお知らせ」に関する欄には含まれていない医療費について、領収書をもとに記入します。医療を受けた人の氏名と医療機関別に1年間の金額を(4)へ。補填された分を(5)へ記入してください。

### ③ 合計額を計算する

Aに「ア」と「ウ」を足した金額を、Bに「イ」と「エ」を足した金額を記入してください。

### ④ 控除額を計算する

表に従って、当てはまる数字を記入し、控除額を算出してください。

### 2 上記1以外の明細

(1) 受診者氏名	(2) 病院・薬局などの支払先の名称	(3) 医療費の区分	(4) 支払った医療費の額	(5) (4)のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額
		<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入	円	円
		<input type="checkbox"/> 介護保険サービス <input type="checkbox"/> その他の医療費	円	円
		<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入	円	円
		<input type="checkbox"/> 介護保険サービス <input type="checkbox"/> その他の医療費	円	円

### 3 控除額の計算

支払った医療費 (合計)	円	A
保険金などで補てんされる金額		B
差引金額 (A-B)		C
所得金額の合計額		D
D×0.05 (赤字のときは0円)		E
Eと10万円のいずれか少ない方の金額		F
医療費控除額 (C-F)		G

## ▼よくあるご質問

**Q** 医療費控除の明細書を記入したいが、保険組合から送られてくる「医療費のお知らせ」が、10月分までしか届いていない。どうすればよいか？

**A** 確定申告では1月から12月に支払った医療費を申告しますが、申告時期までに保険組合から発行される「医療費のお知らせ」は10月分までです。まだ発行されていない11月と12月分の医療費については、領収書をもとに明細を記入してください。